

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901407		
法人名	(有)ノースランド企画		
事業所名	グループホームらい鳥 2階		
所在地	旭川市末広4条7丁目5番5号		
自己評価作成日	令和6年3月6日	評価結果市町村受理日	令和6年3月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=koubvou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0172901407-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療法人のため、医療との連携が密にあり、健康な時も、また体調に変化のあった時にも馴染みの医師や看護師の下、環境を変えることなく療養でき、ご本人はもとより、ご家族にも安心していただいていると思います。コロナ禍で、ご家族との関係が途切れることの無いよう電話や通信で近況を伝え、窓越しでの面会も始めました。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

母体病院やスーパーマーケットに近く、法人が運営する各種介護事業所が集合しているエリアに位置する、開設21年目を迎えた2ユニットの事業所である。鉄骨造り3階建て2～3階部分に各ユニットがある。医療法人グループ運営の強みを活かし、母体病院との連携による介護・医療サービスに優れている。医師や看護師が職員と協働し、利用者の医療支援に力を注ぎ、終の住処としての生活が可能となっており、これまで多数の看取り支援に尽力している。また、正職員全員が喀痰吸引等の研修を受け資格取得に至っている。管理者は職員のモチベーション維持や働く意欲向上となるべく、ボトムアップ的な組織管理を行い、課題解決を自ら思考してもらうなどの職員育成に努めている。これらは良好なチームケアにつながり、相乗的に利用者への介護支援の質を高めている。利用開始前、生活の質の低下によりベッド上の生活が続き褥瘡を患っていた方が、職員の熱心な介護支援により、病状が回復し失禁もなくなり独歩可能となった事例もある。看取りの最期に、職員へありがとうの言葉を残した利用者もいる。書類管理やシステムの整備も必要事項としつつ、変化が起こる度に、また、良好な生活が維持できるよう、本人の生活を支えるためのケアマネジメントの実行に余念なく取り組んでいる。職員、医療関係者が利用者の馴染みの人となり、個人の主体性や生活リズムに合わせ、穏やかにゆったりと安心できる生活を支えている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念の理解、共有のため、ミーティングや、申し送りの時間を利用し共有に努めている。	運営理念と4項目からなるケア理念を標榜し、事業所内要所への掲示や事務デスクに表示している。ミーティング時や介護計画作成時に確認し、日々の支援の根幹となるよう実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	アフターコロナではあるが地域との交流はしていない。又、町内でも控えている。	町内会に加入し、地域情報誌が届いている。町内資源回収の協力や職員と利用者が近隣スーパーマーケットへ買い物に出かけている。退居した利用者の家族からウエスの寄贈を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	アフターコロナではあるも、現在は休止している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は書面にての開催となっている。電話、FAXにて意見、助言を頂いている。	運営推進会議は、書面開催で実施しており、書面開催時における市の規定に則り運営している。入居者状況、行事報告、感染症対策等を報告し、得られた意見を議事録に記載し、関係者へフィードバックしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からない事、不明な事を遠慮なく聞くようにしている。	市の指導監査課担当者とは、不明な点があれば電話で質問等を行い、指導や意見を得ており、特に令和6年4月から義務化となる制度に係る取り組みについて指導を得て準備に至っている。生活保護課担当者と情報連携し利用者の生活支援に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	具体的な行為を理解できるように、定期的に勉強会を開催している。理解度についても都度確認している。	身体拘束等の適正化のための指針を定め、年2回これらに係る内部研修を実施し、高齢者虐待・身体拘束について学習している。身体拘束は行っていない。1階と各ユニット玄関は夜間帯のみ施錠している。	身体拘束等の適正化のための指針の見直しと、適正化に係る委員会としての表題明記や仕組みに基づく開催、及び、議事録の整備について期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	勉強会を定期的に開催して虐待防止と、早期発見ができるよう努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括主催の研修に参加。現在1名保佐人がついている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行い、不明な点については、いつでも問い合わせできるような雰囲気作りに努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を置いたり、電話やお会いすることがあった時に、意見や要望を伺って運営に反映できるように努めている。	利用者の要望へは丁寧に関わり、実際に向けた支援や本人が落ち着く言葉を伝えている。家族からは、電話や面会時、介護計画見直しの際や運営推進会議にて意見、要望を聞き取り、反映に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング等を利用し意見、要望を聞く機会を設け運営に反映できるように努めている。	管理者は人事効課の際や必要時に職員と面談し、働きやすい職場環境を整えている。職員の学びたい研修テーマの実施やチームで課題解決に臨むための援助、喀痰吸引等の資格取得の支援を行うなど、訓練や経験を積み重ね、職員のスキルアップを図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を実施し、力に応じた研修等を受けられるよう配慮している。(喀痰 胃ろうなどの資格を数多く取得した)		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年数や力量に応じた研修、資格取得に関する費用を助成する制度がある。利用者も多い。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センター等の研修に参加していたが、コロナ等の理由で参加出来ていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	成育歴、既往歴などの、情報を共有し、ご本人が安心して生活して頂けることで、信頼関係の構築を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでのご家族の苦労等を伺い不安や心配が少しづつでも排除できる様な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族の状況、要望に耳を傾けて、必要とされるサービスの提供に努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族を、支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染予防の取り組みの中、ご理解、協力を頂き、これまでの関係の継続の支援に努めている。	家族面会を再開し、面談室の他に、看取りの方や利用者の病状や症状に応じて居室でも対応している。職員全員の名前を覚え、日々の暮らしの中で職員の名前を呼びながら自ら関わりを深め、最期の時に職員へありがとうの言葉を残すなど、職員が利用者の大切な馴染みの存在となった事例がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係の把握に努め、孤立感の無きよう支えあえる関係作りを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、気軽に立ち寄って頂いたりして頂きたいが、コロナ禍の為休止している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の様子や言葉から意向を把握し、潜在的な思いに気づくよう努めている。	直接、本人に意向を尋ねる事を一義として、本人が話した言葉を記録している。表出が難しい場合は、利用者との日々の関わりから、本人が望んでいる事を把握したり、家族から情報を得て検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族に協力頂きこれまでの生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の引継ぎ、個人記録を活用し本人の有する力の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに沿ったケアを心掛け、評価の時期、または、必要に応じ本人家族の希望を反映できるよう、プランの更新をしている。	介護計画に沿った日々の記録の蓄積による情報やカンファレンスで利用者の状態像を確認し、モニタリングにつなげている。職員の理解や取り組みを鑑み、センター方式から他のアセスメントシートへ移行した。利用者の困り事と本人がしたい暮らしに焦点を定め、分かりやすく実行可能な介護計画を策定している。	利用者の人間像全体を把握する趣旨において、現在のアセスメント項目のみの内容で適正であるかを職員全員で検討する意向であるので実現に期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録を行い毎日の申し送りなどで情報の共有を図りより良いケアにつながるよう、努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況だけでなく、ご家族の意向、希望に添えるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	色々な感染症の中、地域資源の活用は困難であった。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望される主治医や医療機関を受診している。ご家族にも受診同行の協力を頂いている。	協力医療機関(主治医)による月2回の往診と必要時に歯科の往診が受けられ、看護師による定期的健康管理支援の他、現在、1日2回、医療措置を受けている利用者がある。専門他科受診は家族対応が基本であるが、日本赤十字病院や医療センターへは家族と共に職員も同行している。	

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体が医療法人であり訪問看護師は同法人のため、連携や相談がしやすく適切な看護を受けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医との連携は密にとれており、スムーズな情報交換は出来ている。他院への入退院へも協力があり、関係は築いている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りや重度化について説明。同意頂ければ同意書をいただく。また毎年もしくは必要時に意向に変更が無いか確認している。	利用契約時に「看取りに関する指針」「意向確認書(日常の健康管理・急変時の対応・終末期の対応)」を説明し同意を得ている。医師の判断により関係者間で協議し今後の方針を取り決めている。これまで多数の看取り支援に尽力している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	初期対応や連絡方法を周知している。また協力医の指示を仰いでいる。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛消防訓練を年2回行い、備品等も定期的に確認している。水害についてのマニュアルがあり職員と共有している。	令和5年3月、12月に昼夜を想定した火災通報訓練を実施した。水害時の避難について話し合いを行っている。消防設備業者の設備点検の折に避難誘導に係る相談や、アドバイスを得ている。災害備蓄品、協力者を確保し、BCPの策定に至っている。	ここ何年か感染症対策により実践的な火災避難訓練が未実施となっているので、実施に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の研修等を行い、個人の人格の尊重を心掛けた対応をしている。	職員の利用者への対応は人格や尊厳に配慮し穏やかである。気になった場合は管理者がコーチング形式で導いている。書類は他者の目に付かぬ場所で保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話を傾聴し希望を伝えたり表現できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の気分や体調にあわせ、状況に合った支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容、洋服選びなど、その人らしい、おしゃれの支援を行っている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	体の状況、し好に出来る限り対応し、代替え品の対応もしている。食事の下ごしらえや、食器拭きと一緒にに行い共有の時間を持っている。	季節行事食が反映された献立と食材が届き、職員が手作りしている。年末年始は年越し蕎麦やはんぺんを餅に見立てた雑煮と寿司を提供し、五節句の七夕そうめんも喜ばれている。手作りおやつや生菓子を取り寄せたり、誕生日はスイーツを工夫し添えている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を提供。食事や水分摂取を毎日記録に残し状況に応じた支援が行えるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人に応じたケアを行い口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人に応じた排泄介助を心掛けている。出来る限りトイレでの排泄が続けられる様支援している。	病状や症状によりベッド上での排泄支援や、居室にポータブルトイレを置くことで自立排泄が可能となった利用者がある。介助が必要な利用者が自らトイレに立ち上がった際は付き添い、時間誘導支援など利用者の困難な部分に介入している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、運動量に配慮しながら、それでもコントロールのつかない時は、主治医に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は、決まっているが、本人の希望や体調を優先した支援を行っている。	入浴支援専門職員が勤務している。利用者の中には、「入浴の人」と認知し入りたいと声を上げ、その雰囲気誘われ入浴を歓迎する利用者が多い。胃ろう等の医療措置の方や看取り支援の場合など、利用者の病状や症状によりストレッチャー使用の入浴支援に取り組み、清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のリズムに合わせて快い環境の提供を心掛けた支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋を添付し内服薬に対して理解するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴と趣味活動について聴き取り、心から楽しみに繋がるような支援に努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)		外部評価(事業所全体)	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍、中々外出はままならないが、散歩程度の外に出る機会は設けている。	昨年から徐々に戸外に出て周辺を散歩しており、車いす使用の利用者も外気に触れている。利用者に金銭を所持してもらい、希望する物を購入しに近隣のスーパーマーケットへ買い物に出かけている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理されている方、ホームでお預かりして希望品を購入している。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に添い、支援している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事にあった、壁飾りや小物を入居者と一緒に作り、家庭的な雰囲気作りに努めている。不快な刺激の無い環境作りに努めている。	共用空間は対面式キッチンのある広い造りで、ダイニングコーナーやソファで自由に寛げる。桜や色とりどりの木々など、美しいモチーフの壁面装飾が施されている。エアコン、空気清浄機、加湿器や換気で空調を管理し、浴室はヒートショック対策を講じている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いの場所で過ごして頂き、自分の居場所に困らないように支援している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染や愛着のある物を持参して頂けるよう伝え、入居後は、今までの暮らしに近い環境で生活できるように支援している。	居室には介護用ベッド、寝具、カーテン、クローゼット、チェスト等の数種の備え付けがある。使い慣れた調度品や大切な品々が多数持ち込まれている。居室が自分の心寄せの居場所として長時間過ごす方や重度化、看取り時も環境構成に配慮している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂など、利用者が分り自ら行動できるように配慮している。安全へも配慮し家具の配置や動線に気を配っている。			

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0172901407		
法人名	(有)ノースランド企画		
事業所名	グループホームらい鳥 3階		
所在地	旭川市末広4条7丁目5番5号		
自己評価作成日	令和6年3月6日	評価結果市町村受理日	令和6年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体が医療法人のため、医療との連携が密にあり、健康な時も、また体調に変化のあった時にも馴染みの医師や看護師の下、環境を変えることなく療養でき、ご本人はもとより、ご家族にも安心していただいていると思います。コロナ禍で、ご家族との関係が途切れることの無いよう電話や通信で近況を伝え、窓越しでの面会も始めました。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=koubou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0172901407-00&ServiceCd=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月22日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念の理解、共有のため、ミーティングや、申し送りの時間を利用し共有に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	アフターコロナではあるが地域との交流はしていない。又、町内でも控えている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	アフターコロナではあるも、現在は休止している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は書面にての開催となっている。電話、FAXにて意見、助言を頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	分からない事、不明な事を遠慮なく聞くようにしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	具体的な行為を理解できるように、定期的に勉強会を開催している。理解度についても都度確認している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を定期的に開催して虐待防止と、早期発見ができるよう努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括主催の研修に参加。現在1名保佐人がついている。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明を行い、不明な点については、いつでも問い合わせできるような雰囲気作りに努めている。			
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を置いたり、電話やお会いすることがあった時に、意見や要望を伺って運営に反映できるように努めている。			
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティング等を利用し意見、要望を聞く機会を設け運営に反映できるように努めている。			
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を実施し、力に応じた研修等を受けられるよう配慮している。(喀痰 胃ろうなどの資格を数多く取得した)			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年数や力量に応じた研修、資格取得に関する費用を助成する制度がある。利用者も多い。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センター等の研修に参加していたが、コロナ等の理由で参加出来ていない。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	成育歴、既往歴などの、情報を共有し、ご本人が安心して生活して頂けることで、信頼関係の構築を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでのご家族の苦労等を伺い不安や心配が少しづつでも排除できる様な関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族の状況、要望に耳を傾けて、必要とされるサービスの提供に努める。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族を、支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ感染予防の取り組みの中、ご理解、協力を頂き、これまでの関係の継続の支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係の把握に努め、孤立感の無きよう支えあえる関係作りを支援している。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も、気軽に立ち寄って頂いたりして頂きたいが、コロナ禍の為休止している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の様子や言葉から意向を把握し、潜在的な思いに気づくよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族に協力頂きこれまでの生活の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の引継ぎ、個人記録を活用し本人の有する力の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプランに沿ったケアを心掛け、評価の時期、または、必要に応じ本人家族の希望を反映できるよう、プランの更新をしている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに沿った記録を行い毎日の申し送りなどで情報の共有を図りより良いケアにつながるよう、努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状況だけでなく、ご家族の意向、希望に添えるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	色々な感染症の中、地域資源の活用は困難であった。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、家族の希望される主治医や医療機関を受診している。ご家族にも受診同行の協力を頂いている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体が医療法人であり訪問看護師は同法人のため、連携や相談がしやすく適切な看護を受けている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医との連携は密にとれており、スムーズな情報交換は出来ている。他院への入退院へも協力があり、関係は築いている。			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に看取りや重度化について説明。同意頂ければ同意書をいただく。また毎年もしくは必要時に意向に変更が無いか確認している。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	初期対応や連絡方法を周知している。また協力医の指示を仰いでいる。			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛消防訓練を年2回行い、備品等も定期的に確認している。水害についてのマニュアルがあり職員と共有している。			

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の研修等行い、個人の人格の尊重を心掛けた対応をしている。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話を傾聴し希望を伝えたり表現できるように働きかけている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の気分や体調にあわせ、状況に合った支援を心掛けている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容、洋服選びなど、その人らしい、おしゃれの支援を行っている。			

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	体の状況、し好に出来る限り対応し、代替品の対応もしている。食事の下ごしらえや、食器拭きと一緒にいき共有の時間を持っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を提供。食事や水分摂取を毎日記録に残し状況に応じた支援が行えるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人一人に応じたケアを行い口腔内の清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人に応じた排泄介助を心掛けている。出来る限りトイレでの排泄が続けられる様支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量、運動量に配慮しながら、それでもコントロールのつかない時は、主治医に相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は、決まっているが、本人の希望や体調を優先した支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人のリズムに合わせて快い環境の提供を心掛けた支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人記録に処方箋を添付し内服薬に対して理解するように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の生活歴と趣味活動について聴き取り、心から楽しみに繋がるような支援に努めている。		

グループホーム らい鳥

自己評価	外部評価	項目	自己評価(3階)		外部評価	
			実施状況		実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍、中々外出はままならないが、散歩程度の外に出る機会は設けている。			
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人で管理されている方、ホームでお預かりして希望品を購入している。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に添い、支援している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事にあった、壁飾りや小物を入居者と一緒に作り、家庭的な雰囲気作りに努めている。不快な刺激の無い環境作りに努めている。			
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	思い思いの場所で過ごして頂き、自分の居場所に困らないように支援している。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染や愛着のある物を持参して頂けるよう伝え、入居後は、今までの暮らしに近い環境で生活できるように支援している。			
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂など、利用者が分り自ら行動できるように配慮している。安全へも配慮し家具の配置や動線に気を配っている。			

目標達成計画

事業所名 グループホームらい鳥

作成日：令和 6年 3月 25日

市町村受理日：令和 6年 3月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が、ご家族に周知されていない。	運営推進会議がご家族の意見や質問、希望を言う機会の場になる。	運営推進会議議案を送付し面会時などに意見を聞くなどすることで意見を取り入れられるよう配慮する。	3ヶ月
2	23	センター方式 B-3シート(私の暮らし方シート)に空欄が多い。	本人、ご家族へのアセスメントが、十分になされ、その人らしい暮らしの、一助となる。	本人、ご家族には、時々尋ね新しい事が分かったときには、全職員がシートに加筆や修正を行い情報を共有する。	6ヶ月
3	35	地震時のトイレ中や入浴中の具体的な対応が話し合われていない。	入浴中や排泄中に地震がおきても、羞恥心に配慮し安全に避難出来る。	避難訓練の内容を見直し、より具体的な内容として訓練を行う。	6ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。